資料６

市町村におけるヤングケアラー実態調査の実施状況

１　ヤングケアラー実態調査の実施の有無

（単位：市町村数。以下同じ）

<table>
<tr><th colspan="2">令和７年度</th><th colspan="4">令和８年度</th></tr>
<tr><td rowspan="3">実施</td><td rowspan="3">19</td><td rowspan="3">実施または
実施予定</td><td>実施済</td><td>4</td><td rowspan="3">18</td></tr>
<tr><td>実施中</td><td>1</td></tr>
<tr><td>令和９年３月までに実施予定</td><td>13</td></tr>
<tr><td>ー</td><td>ー</td><td colspan="2">検討中</td><td colspan="2">9</td></tr>
<tr><td>未実施</td><td>25</td><td colspan="2">実施しない</td><td colspan="2">17</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>44</td><td colspan="2">合計</td><td colspan="2">44</td></tr>
</table>

○未実施・実施しない主な理由

・学校において、生徒に対し生活に関わるアンケート等が行われており、児童担当課と学校、教育委員会が情報共有を図ることによって、実態を把握している。
・学校に訪問し、情報収集及び該当者に個人面談を実施して調査したため。
・ヤングケアラー実態調査の実施の方法と時期を検討中。
・現状の人員体制では対応が難しい。
・現時点では、地域住民や教育・福祉の現場においてヤングケアラーの概念が十分に認知・定着しているとは言えないため、調査を実施しても正確な実態把握に繋がらない可能性が高いと考える。

２　調査対象

	令和７年度	令和８年度
小学１年生	11	12
小学２年生	11	12
小学３年生	11	12
小学４年生	11	12
小学５年生	17	16
小学６年生	17	16
中学生	19	18
高校生	1	1
その他	1	0

※その他：教職員

３　調査方法

	令和７年度	令和８年度
学校で実施している既存調査に設問を追加	11	11
市町村独自の調査を学校に依頼	7	6
その他	1	1
合計	19	18

※その他：上記の両方を実施。

４　設問数

	令和７年度	令和８年度
1問	4	4
２～５問	6	6
６～10問	5	5
11～20問	1	1
21問以上	3	2
合計	19	18

～今後の対応について～

　実施しないと回答のあった市町村に対しては、ヒアリング等を実施し、ヤングケアラー実態調査の必要性を説明し、調査の実施について働きかけを行う。